

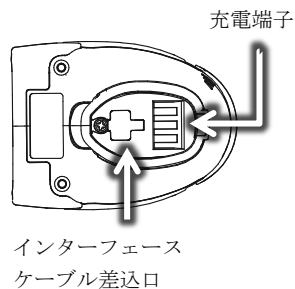
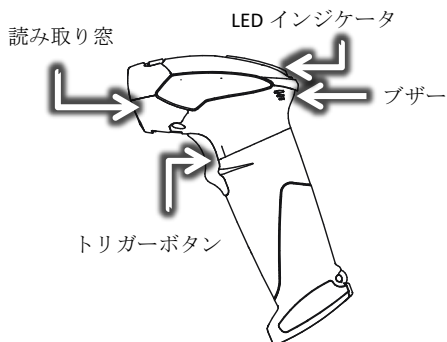
ワイヤレスバーコードスキャナー ITL-3190BT Plus クイックガイド v1.0

2025/7

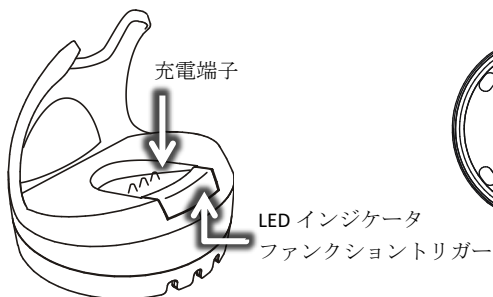
本冊子は、ITL-3190BT Plus を各ホストと Bluetooth 接続するための、クイックセットアップガイドです。本冊子に記載されていない、より詳細な情報については、次の URL にごさいますユーザーマニュアルをご覧ください：

<http://www.j-itecs.co.jp/download/>

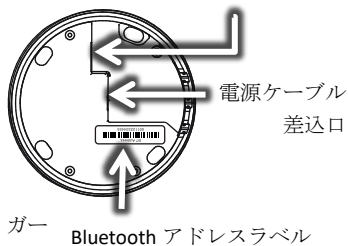
各部の説明



【スキャナ本体】



インターフェース ケーブル差込口



【クレードル】

同梱物

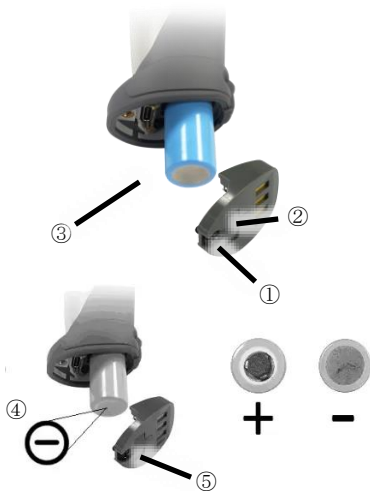
- ・ スキャナ本体
- ・ クレードル本体(充電&無線受信機)
- ・ AC アダプタ+ USB Type-C 電源ケーブル
- ・ インターフェースケーブル(USB, RS-232C の内、ご購入時にご指定頂いた物)
- ・ 専用充電池
- ・ クイックガイド(本書)

※注 本製品は、同梱物を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用になる前に



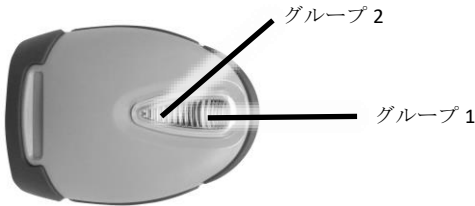
付属の充電電池は ITL-3190BT Plus 専用です。専用充電電池以外は使用しないでください。専用充電電池以外の使用は保証対象外です。



充電電池の取り付け

- ① キャップのネジを回します。
- ② キャップを外します。
- ③ 充電電池を挿入します。
- ④ マイナス面が下になっていること、充電電池が奥まで挿入されている事を確認して、キャップを取り付け直します。
- ⑤ ネジをしっかりと締めます。

LED インジケータと Beep 音



LED		ステータス
グループ 2	グループ 1	
—————	青点滅	ペアリング待機状態 (間隔 0.5s : 0.5s)
—————	青速い点滅	ペアリング中
—————	青遅い点滅	Bluetooth 正常接続状態(間隔 0.03s : 3s)
青 1 回点灯	—————	バーコード読み取り完了
青速い点滅	—————	データ転送中
—————	緑点滅	充電中
—————	緑点灯	充電完了
赤点灯	—————	プログラミングモード
赤遅い点滅(Beep×1)	—————	ローバッテリー
赤 2 回点滅(Beep×2)	—————	ローバッテリー(限界)

接続について

ITL-3190BT Plus は、次の 4 つのコミュニケーションモードをサポートしております：

モード	説明
クレードルホストモード	クレードルとセットで動作する、出荷時に設定されている動作モードです。このモードは、箱から出してすぐにご利用頂ける状態になっています。 ※ 長期間保管された場合など、本体とクレードルが正しく接続出来ない場合は、4 ページの手順に従って、ペアリングをやり直してください。
SPP スレーブモード	このモードでは、本体はシリアルポートプロファイル(SPP)を用いて、PC 等のホスト機器と直接、スレーブモード(相手からの接続を待ち受けるだけのモード)で Bluetooth 接続されます。このモードでご利用頂くためには、ホスト側に Bluetooth 通信機能が搭載、または増設されていて、かつ、SPP をサポートしていなければなりません。また同じくホスト側に、SPP 接続のシリアルポートからデータを取り込むためのソフトウェアや機能が必要となります。 このモードでは、本体の Bluetooth デバイス名が「ZBBT」、ペアリングコード(PIN コード/パスキー)は「12345678」に設定されます。
SPP マスターモード	SPP スレーブモードと同様に、本体はシリアルポートプロファイル(SPP)を用いて、PC 等のホスト機器と直接 Bluetooth 接続されますが、このモードでは、マスターモード(スキャナ本体から、相手側に対して接続要求を行うモード)で動作致します。ホスト側に Bluetooth 通信機能が搭載、または増設されていて、かつ、SPP を介した、他の機器からの接続をサポートしていなければなりません。また同じくホスト側に、SPP 接続のシリアルポートからデータを取り込むためのソフトウェアや機能が必要となります。 このモードでは 6 ページの手順に従って、スキャナ本体に、相手側 Bluetooth 機器の Bluetooth MAC アドレスとペアリングコード(PIN コード/パスキー)を記憶させる必要がございます。
HID モード	このモードでは、本体はヒューマンインターフェースデバイス(HID)プロファイルを用いて、PC 等のホスト機器と直接、Bluetooth キーボードとして接続されます。このモードでご利用頂くためには、ホスト側に Bluetooth 通信機能が搭載、または増設されていて、かつ、HID をサポートしていなければなりません。 このモードでは、本体の Bluetooth デバイス名が「ZBBT」、ペアリングコード(PIN コード/パスキー)は「12345678」に設定されます。

ペアリング(クレードルホストモード)

クレードルとのペアリングは、出荷時の状態で、既に完了しています。もし、長期間ご利用にならなかった場合や、何らかの理由でペアリングが解除されてしまった場合は、次の手順に従って、再度ペアリングをやり直してください：

- ※ ホストとクレードルをケーブルで接続する場合は、ACアダプタをご利用頂かなくても、ホスト側からの電力のみで動作致します。ただし、もしホスト側に十分な給電能力が無い場合や、バッテリー駆動のホストなどで、バッテリーの消費を抑えたい場合などは、ACアダプタを併用してください。
- ※ クレードルによるスキャナ本体への充電は、ACアダプタが接続されていなければ行われません。
- ※ ACアダプタの接続は、「ACアダプタのコンセントへの接続」→「クレードルへの接続」→「ホストへのインターフェースケーブルの接続」の順に行ってください。

1. クレードルの電源が **ON** になっている事を確認します。
2. クレードルの **LED** が、青色で点滅している事を確認します。
3. 次のバーコードを上から順に読み取らせませす：

	設定開始
	クレードルホストモード：有効
	設定終了

4. スキャナ本体のグループ 1 の **LED** が、青色の高速点滅状態に移行します。
5. クレードル底面に貼られている、**Bluetooth** アドレスラベルのバーコードを読み取らせませす。
6. ペアリングが正常に完了すると、スキャナ本体から「ポビッ」という **Beep** 音が鳴り、グループ 1 **LED** が、青色でゆっくりと点滅しはじめ、一方クレードルの **LED** は、青色の点灯状態となります。

- ※ クレードルがペアリングモード固定に設定されている場合や、スキャナ本体がクレードルホストモードのペアリングに失敗した場合、スキャナ本体から「ビッビッビッ」という、エラーを示す **Beep** 音が鳴ります。またグループ 1 **LED** は、青色の高速点滅状態に戻ります。
- ※ ペアリングモード固定が設定されている場合は、下記の、ペアリングモード解除のバーコードを読み込ませください。
- ※ クレードルとスキャナ本体の接続が確立している時は、クレードルの **LED** が青で点灯します。何らかの理由で、クレードル／スキャナ本体の接続が途絶えると、**LED** は青色の点滅状態になります。この時、スキャナ本体のトリガーボタンを 1 秒以上押すか、またはスキャナ本体をクレードルにセットすると、自動的に再接続がなされます。
- ※ キーボードの言語モードを切り替える必要がある場合は、10 ページに掲載された「キーボード言語モード」設定コードを読み取らせてください。
- ※ 言語モードの設定は、『クレードルのそれぞれのインターフェースモード毎』に、独立して記憶されます。工場出荷時の設定では、**USA** キーボードに設定されておりますが、本機お買い上げ時にご指定いただいたインターフェースケーブルの言語モードのみ、弊社にて、日本語キーボードモードに、予め設定を変更して出荷させて頂いております。

	ペアリングモード解除
---	------------

SPP スレーブモード

SPP スレーブモードは、スキャナ本体とホストとの間で SPP を介した接続を行い、かつ、ホスト側からスキャナ本体に対して、ペアリング要求や接続要求を行うためのモードです。ペアリングの手順は、それぞれのホストごとに大きく異なりますので、以下は、手順 1 及び 2 が、全てのホストで共通、それ以降は、Windows10 をご利用頂く場合を例として挙げさせていただきます：

1. 次のバーコードを上から順に読み取らせます：

	設定開始
	SPP スレーブモード
	設定終了

2. スキャナ本体のグループ 1 の LED が、青色の高速点滅状態に移行します。
3. Windows の[スタート]から、[設定]-[デバイス]-[Bluetooth]を開きます。もし Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。



5. しばらくすると、Bluetooth デバイスの一覧の中に、“ZBBT”という名前のデバイスが現れます。デバイス名のすぐ下に、“ペアリングの準備完了”と表示されている事を確認したうえで、その名前をタップまたはクリックし、[ペアリング]をタップ/クリックします。



6. ペアリングコード(PIN コード、またはパスキーとも呼びます)の入力を求められた場合は、“12345678”と入力します。
7. ペアリングが正常に完了すると、デバイスの表示が「接続済み」に変化します。



8. スキャナ本体と通信を行うためのソフトウェアから、本機に割り当てられた COM ポートをオープンすると、スキャナ本体から「ポピッ」という Beep 音が鳴り、グループ 1 LED が、青色でゆっくりと点滅しはじめます。

※ 本機に割り当てられた COM ポートの番号は、Windows の[スタート]から、[設定]-[デバイス]-[Bluetooth]画面の“関連設定”に表示される、[デバイスとプリンター]を開き、“ZBBT”という名前のデバイスのプロパティの中の、[サービス]タブを開くことで、確認することが出来ます。

※ ホストとスキャナ本体の接続が確立(COM ポートが開いている状態)している時のみ、スキャナ本体の LED が青色でゆっくりと点滅します。何らかの理由で、ホストとの接続が途絶えると、スキャナ本体は接続待ち状態になり、LED は青色で高速に点滅する状態に移行し、その後しばらくすると、スキャナ本体は待機状態になり、LED は消灯します。この時、スキャナ本体のトリガーボタンを 1 秒以上押すと、スキャナは再度、接続待ち状態に戻ります。

SPP マスターモード

SPP マスターモードは、スキャナ本体とホストとの間で SPP を介した接続を行い、かつ、スキャナ本体側からホストに対して、ペアリング要求や接続要求を行うためのモードです：

※ 手順 2 で設定する Bluetooth アドレスは、本機のアドレスではなく、本機が接続する相手となる機器のアドレスです。予め、その機器のアドレスを確認して、メモ等に控えておいてください。また、それらの機器のアドレスを確認する方法につきましては、機器の製造元、または販売店にお問い合わせください。

1. 次のバーコードを上から順に読み取らせます：

	設定開始
	SPP マスターモード
	Bluetooth アドレス設定

2. 12 桁の Bluetooth アドレスを設定します。

例) 相手側のアドレスが“00.11.22.33.44.55”の場合

9 ページの「設定用数字バーコード」を次の順に読み取らせます：

[0]→[0]→[1]→[1]→[2]→[2]→[3]→[3]→[4]→[4]→[5]→[5]→[Set]

3. 次のコードを上から順に読み取らせて、相手側スレーブ機器に対して、ペアリング要求を行います。

	スレーブ機器にペアリングを要求
	設定終了

HID モード

HID モードは、スキャナ本体を Bluetooth キーボードに見立ててホストと接続し、スキャナ本体で読み取ったバーコードデータをあたかもキーボードから入力されたかの様に、ホスト側のソフトウェアに与えるようにするためのモードです。ペアリングの手順は、それぞれのホストごとに大きく異なります。ここでは iOS 10.x デバイスと Android 5.x デバイス、Windows10 の 3 種類を例として挙げさせていただきます：

1. 次のバーコードを上から順に読み取らせてます：

	設定開始
	HID モード

※ キーボードの言語モードを切り替える必要がある場合は、このタイミングで、10 ページに掲載された「キーボード言語モード」設定コードを読み取らせてください。

2. ホスト側の OS が iOS または Android の場合は、更に、次のコードも読み取らせてます。

	HID キーボードモード
---	--------------

3. 最後に、次のコードを読み取らせてます。

	設定終了
---	------

以上で、ペアリングの準備は完了です。以下は、それぞれのホストデバイス毎の手順です：

iOS の場合

1. iOS デバイスの[設定]-[Bluetooth]を開きます。もし iOS 側の Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。
2. その他のデバイス”一覧に、“ZBBT”という名前のデバイスが現れたら、その名前をタップします。
3. iOS デバイスの画面上に、ペアリングコードの入力を促すメッセージとペアリングコードが現れます。9 ページの「設定用数字バーコード」を使い、ペアリングコードを入力します。
例) 要求されたコードが“1234”の場合
9 ページの「設定用数字バーコード」を次の順に読み取らせてます：
[1]→[2]→[3]→[4]→[Enter]

Android の場合

1. Android デバイスの[設定]-[Bluetooth]を開きます。もし Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。
2. 使用可能なデバイスの一覧を更新して、周囲にある Bluetooth デバイスの探査を行います。
3. デバイス”一覧に、“ZBBT”という名前のデバイスが現れたら、その名前をタップします。
4. Android デバイスの画面上に、ペアリングコードの入力を促すメッセージとペアリングコードが現れます。9 ページの「設定用数字バーコード」を使い、ペアリングコードを入力します。

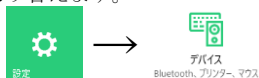
例) 要求されたコードが“1234”の場合

9 ページの「設定用数字バーコード」を次の順に読み取らせます：

[1]→[2]→[3]→[4]→[Enter]

Windows の場合

1. Windows の[スタート]から、[設定]-[デバイス]-[Bluetooth]を開きます。もし Bluetooth がオフになっている場合はオンに切り替えます。



2. しばらくすると、Bluetooth デバイスの一覧の中に、“ZBBT”という名前のデバイスが現れます。デバイス名のすぐ下に、“ペアリングの準備完了”と表示されている事を確認したうえで、その名前をタップまたはクリックし、[ペアリング]をタップ/クリックします。



3. ペアリングコード(PIN コード、またはパスキーとも呼びます)の入力を求められた場合は、“12345678”と入力します。
4. ペアリングが正常に完了すると、デバイスの表示が「接続済み」に変化します。



5. ペアリングが正常に完了すると、スキャナ本体から「ポピッ」という Beep 音が鳴り、グループ 1 LED が、青色でゆっくりと点滅しはじめます。

設定用数字バーコード


1


3


5


7


9


A


C


E


SET(設定を保存)


2


4


6


8


0


B


D


F


ENTER

主な設定バーコード

初期化コード



スキャナ本体を工場出荷状態に戻す



クレードルを工場出荷状態に戻す

クレードル／ホスト間インターフェースの設定(クレードル接続状態でのみ有効)



USB HID キーボード初期状態に戻す



RS-232C 初期状態に戻す



USB シリアル初期状態に戻す

キーボード言語モード(その他の言語モードについては、ユーザーマニュアルをご覧ください)



USA キーボード(工場出荷時設定)



日本語キーボード

設定開始／終了



設定開始

※設定コードによる各種設定を行う前に読み取らせてます。



設定終了

※設定が完了した後に読み取らせてます。

お問い合わせ先

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35 N ビル東陽町 7F

TEL : 03-5683-9420 FAX : 03-5683-9421

sales3@j-itecs.co.jp

